

裸麥

〔延喜式二十一計四〕凡諸國輸調○中一丁○中米六斗、壹岐島二斗、小豆四斗、大豆四斗。
壹岐島○註○中 小麥廿斛二斗。

〔延喜式三十ニ新嘗祭 宴會雜給

親王以下三位已上并四位參議 人別○中 小麥四合、四位五位并命婦 人別○中 小麥二合、

〔東大寺正倉院文書五奉造一丈六尺觀世音菩薩料雜物等自諸司請來事、
合參拾壹種○中 白米一百斛 糯米四斗 小麥五斗 右三種自大炊司請○中

天平寶字四年六月廿五日

領今來人成

〔農業全書二穀〕麥

種子色々かず多き物なり。はだか麥の内には米むきやす、京むきやす、赤むきやす、此むきやすとはだか麥の又は廣島はだかなど云あり、稻麥も色々おほし、所の相應を考へ撰びて作るべし。尤霧雨しげき所にては、毛の短くたはますして、雨霧を含みて穗の痛む類をば作るべからず。

〔和漢三才圖會百穀〕大麥○中

本綱略○中 青稞麥似大麥而粒大皮薄、多麪無穀○中

按略○中 青稗也須穗短穎多而麤薄、收之早於大麥、粘少味劣、有帶赤黑色者也須無木並皮薄春之剝易可得八斗。

〔農業餘話上〕麥

ムケヤスと云ふ麥は、大麥よりは味はひ少し劣れども、搗くにたやすければ、今は多く此ムケヤスを栽る事となれり、其作りかた大麥に同じ、此ものは、中古弘法大師唐土より種を取りて歸朝せりとか言ひ傳ふ、此麥は皮薄くて剥け易けれど、ムケヤスといふなるべし。

〔重修本草綱目啓蒙麻十七〕稻○小麥